

「農作業支援隊」が成果 ～労働力不足に多彩な対応～

農家の高齢化や耕作放棄地の拡大が懸念されていることから、J A仙台は昨年7月に現役とOBの職員5人で「農作業支援隊」を結成し、本年度も成果を挙げている。

活動の目的は、高齢者農家の労働力不足に対応して農業生産の減少を食い止めること、経営規模を拡大する担い手農家や新規就農者を支援して農業所得向上をサポートすること、病気や怪我など緊急性の高い理由で一時的に営農が困難になった方を支援することなどだ。

農作業支援隊の活動は草刈りや畑起こしなどの農作業の取り組みのほか、有害鳥獣対策の防護柵設置、耕作放棄地を解消するための環境整備、J A仙台の施設整備など実に多岐にわたる。

本年度は4月から8月にかけて25件の依頼を受けて活動に取り組んでいる。

隊長の渡辺邦夫さん（59歳）は、「農作業に精通するメンバーで支援するので、安心してお任せ下さい。今年の夏は暑くて大変でしたが、農家組合員と地域の役に立ち、皆さんの笑顔を見られることに一番のやりがいを感じます」と頼もしい笑顔を見せていた。



【記事提供：仙台市農業委員会】